

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年7月9日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県彦根市服部町840

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社 彦根LIXIL製作所
工場長 下田 龍介

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更)]
[事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社 彦根LIXIL製作所 代表取締役 寺元 丈司
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県彦根市服部町840

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社 彦根LIXIL製作所					
事業所の所在地	滋賀県彦根市服部町840					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	5	9	2	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	水栓機器製品および部品の製造					
従業員の数	193	人	作業時間	8	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	2	台
	コンプレッサ	9	台	空気調和設備	110	台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2025	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2029	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

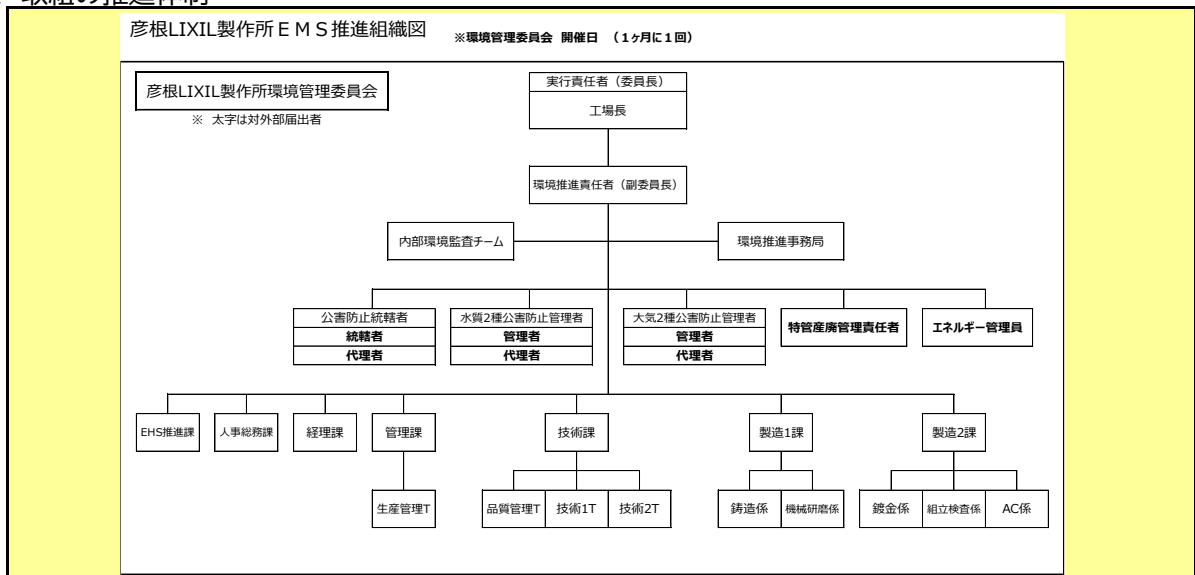
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

2020年3月期に策定した「LIXIL環境ビジョン2050」では、「Zero Carbon and Circular Living(CO₂ゼロと循環型の暮らし)」を掲げ、上記重要課題のうち「気候変動対策を通じた緩和と適応」「水の持続可能性を追求」「資源の循環利用を促進」をビジョン実現に向けた重点領域に定めています。重点領域を推進するための共通の基盤として、製品ライフサイクルを通じた環境負荷の低減、および全社の環境マネジメント強化、各領域に深く関連する生物多様性の保全にも取り組んでいます。2050年までに、環境分野のリーディングカンパニーを目指し、事業プロセスと製品・サービスを通じてCO₂の排出を実質ゼロにし、水の恩恵と限りある資源を次世代につなぎます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 省エネ対策として2020年度から以下の取組を実施
- ・鋳物不良率改善・生産性向上によるCO₂排出量及び、廃棄物の削減
 - ・省エネ機器の積極的な導入によるCO₂排出量の削減
 - ・稼働設備の適正運転化によるCO₂排出量の削減(間欠運転・不在時の停止化)
 - ・コンプレッサーのエア漏れ状況を工場全体で把握し改善を実施。
コンプレッサーの最適運転によるCO₂排出量の削減
 - ・スチームトラップ診断による蒸気漏れ改善によるCO₂排出量削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	電力監視システムにより使用量の監視	通年	
2	運用改善	省エネ 草の根活動	2025年4月～	
3	運用改善	エア－漏れ改善	2027年4月～	
4	運用改善	エアコンの更新※GHP⇒EHPへ	2026年6月～	
5	設備導入	コンプレッサーの更新※熱回収式の導入	2025年11月	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
2024年度をベンチマークとして以下の数値目標を目指す。 原単位「エネルギー使用量(原油換算kl)/生産高(百万)」=前年比1%削減 BM:0.311※2024年実績値 目標値 2025年度:0.308	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度	(2029)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,631					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,873					
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,873					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.311					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電設置	2027年	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	2030年までに鑄造プロセスの見直しを行い保持炉に使用している電力を約60%削減する。 ※約60万kwh/年
2	LPGガスエアコンをEHPのエアコンに更新を行う。
3	熱回収式コンプレッサーの廃熱からお湯を製造し製造ラインへ供給する検討を行い実行する。 LPGガスと灯油の削減。
4	非化石証書購入の検討。
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度	(2029)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	2,873					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	2,873					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.419					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度	(2029)年度
保有車輛の数	台	1					
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0					
特記事項			2025年度にハイブリッド車へ更新を予定。				

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				